



2023年12月11日
名古屋四日市国際港湾株式会社

台湾及びシンガポールの船社等への訪問について

弊社は名古屋港管理組合とともに、2023年11月26日から12月3日までの日程で、台湾のヤンミン、エバーグリーン、ワンハイラインズ、T.S.ラインズ、台湾港務株式会社高雄支社(TIPC)及び、シンガポールのオーシャン・ネットワーク・エクスプレス(ONE)、シンガポール海事港湾庁(MPA)を訪問し、各社・団体の皆様の歓迎を受けました。

弊社の代表取締役社長の佐藤と名古屋港管理組合の鎌田副管理者は、各船社に対して名古屋港への寄港に感謝の意を表するとともに、名古屋港の概要や取組みを説明しました。また、サイバーセキュリティや脱炭素の取組み等について意見交換しつつ、名古屋港に対するご要望もお聞きしました。

台湾の港湾管理組織であるTIPCでは、高雄港のコンテナターミナルの再配置計画等のご説明を頂き、相互に意見交換を行うとともに、同社のアテンドにより、新たに開発されたエバーグリーンが運営する高雄港第7ターミナルを視察させて頂き、遠隔操作ガントリークレーンの説明などをお聞きしました。

また、シンガポールの海事行政全般を管轄するMPAでは、現在開発中のトュアス新ターミナルは将来年間6,500万TEU超の荷量に対応可能で、完成の暁には、現在年間3,700万TEUを扱っている既存ターミナル全てスクラップして有効活用を図っていくとの壮大な計画の説明を頂き、相互に意見交換を行いました。

弊社は今回の訪問での経験を活かし、引き続きお客様ニーズに応えらえるようにコンテナターミナルの効率性やサービス向上に努めてまいります。

問い合わせ先

名古屋四日市国際港湾株式会社

経営企画部長 鈴木

運営部 主査 太田

TEL 052-651-7585

FAX 052-651-7586

<ヤンミン本社(台湾)>



(写真)右から2番目より左に順に、Ed チーフ(ヤンミン)、弊社佐藤社長、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)

<エバーグリーン本社(台湾)>



(写真)右から5番目より左に順に、黄副部主管(エバーグリーン)、弊社佐藤社長、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)

<ワンハイ本社(台湾)>



(写真)右から4番目より左に順に、馬協理(ワンハイ)、弊社佐藤社長、李課長(ワンハイ)、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)

<T.S.ラインズ本社(台湾)>



(写真)右から3番目より左に順に、弊社佐藤社長、黄シニアバイスプレジデント(T.S.ラインズ)、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)

<TIPC(台湾)>



(写真)右から2番目より左に順に、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)、孫港務長(TIPC)、弊社佐藤社長

<エバーグリーン高雄第7ターミナル(台湾)>



(写真)右から3番目より左に順に、弊社佐藤社長、郭本部主管(エバーグリーン)、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)

<ONE 本社(シンガポール)>



(写真)右から4番目より左に順に、辻井部長(ONE)、弊社佐藤社長、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)

<MPA(シンガポール)>



(写真)右から順に、弊社佐藤社長、符アシスタントチーフエグゼクティブ(MPA)、鎌田副管理者(名古屋港管理組合)